

歩 -AYUMI-

一歩一歩進む 少しずつ目標に近づく

	進 学						就 職						決定者数合計 / 在籍数		
	4年制大学		短期大学		専修 各種	専攻 科	計	民間企業		公 務 員		就職 進学		自営	計
	国公立	私立	国公立	私立				県内	県外	県内	県外				
普通科	9	16	4	5	15	2	51	1	2	1	0	0	0	4	55 / 57
総合ビジネス科	2	7	0	6	19	0	34	12	20	0	0	0	0	32	66 / 66
工業技術科	1	2	1	0	7	2	13	21	26	0	2	0	0	49	62 / 62
合 計	12	25	5	11	41	4	98	34	48	1	2	0	0	85	183 / 185
	37		16					82		3					

入学式が行われました



4月8日に入学式が行われ、新入生180名が新たな高校生活をスタートさせました。

式では難波文彦校長が、この後の高校生活では、「自分をつくること」と「豊かな想像力を育むこと」に努めてほしいと式辞を述べた後、新入生を代表して佐藤菜々さんが、家族や支えてくれる人への感謝を忘れず、新しい仲間と学習や部活動、生徒会活動に積極的に取り組みたいと誓いの言葉を述べました。

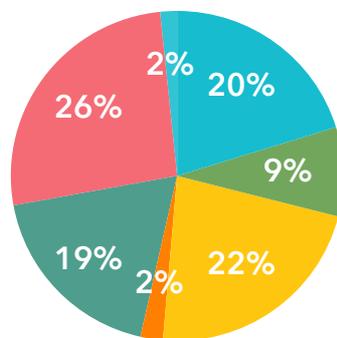
多くの可能性とともに湯沢翔北高校の校門をくぐった新入生の皆さんが、自分の希望を実現させて、3年後に大空に高く翔けていくことを願っています。

卒業生の進路状況

今年の3月の卒業生の進路は・・・

この3月の卒業生の進路状況をまとめました。特徴は次の通りです。

- ① 例年、進学が60%、就職が40%の割合だったが、今回は進学した人が約53%、就職した人が約47%と、就職を選んだ人が例年よりも多かった
- ② 大学への進学者が前の年は50人だったが、今回は37人と大幅に減少し、民間企業への就職が72人から82人に増加した
- ③ 公務員になった人も、6人から3人と半減した



- 大学進学
- 専修学校進学
- 民間就職県内
- 民間就職県外
- 公務員
- 短大進学
- 専攻科進学

現在、就職に有利な状況なので、就職を選んだ人もいたと思われますが、卒業後の進路は、その時の状況を見るだけではなく、今後の社会の流れを予想することも必要です。数年後、こんなはずではなかった・・・とならない進路選択をしてください。

1年生へ

少しずつリズムをつかもう

さまざまな行事が続きます。緊張して疲れても感じないかもしれませんが、適度に休養をとりながら高校生活のリズムをつかんでください。

2年生へ

入学時を思い出してみよう

1年前を思い出し、初心にかえって、必要であれば軌道修正をしてください。ここから頑張れば、まだまだたくさん可能性があります。

3年生へ

すぐに進路対策をしよう

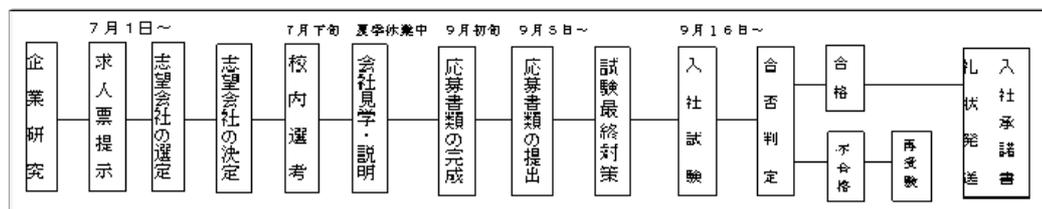
就職試験は2ヶ月半で本番となります。進学のAO試験も早い学校は5月に始まります。早いほどよいのが受験の準備です。

民間企業への就職活動の流れ

民間就職はどのように行われるか

新年度になって慌ただしくて進路のことなんて考えてられないというほど忙しい毎日だと思いますが、時間は待ってくれません。3年生の就職志望の皆さんにとっては、あと2ヶ月もすると、もう就職活動が本番を迎えることになり

ます。今回は、進学よりも一足先に本格スタートする民間企業への就職活動の流れを確認しておきましょう。



7月1日から求人票が提示されます。求人票とは働く人を採用したい会社が発行するもので、仕事の内容や採用人数、賃金、休日などが記載されています。学校に直接郵送されたり、県内企業だと採用担当の方が直接持参したりしますが、全国の求人票をWEBで見することもできます。ものすごい数の求人票から、受験する企業を最後には1社に絞ることになりますので、昨年度の求人票などを参考にして事前に企業研究をしておくことが重要です。求人票を見ていくつか候補の会社を選び、夏休み中には会社見学や会社説明会に参加します。実際に会社に行くことで、イメージどおりの会社か否かが判断できます。そして、最終的に、受験する会社1社を決定します。（応募する会社は、原則1社のみです。）

会社が決まったら、次は書類作りです。最初に就職試験の「応募申込書・保護者同意書」を提出します。その後、校内選考にかかり、問題がなければ応募の許可が出ます。応募が決まったら、「履歴書」を作ります。履歴書には自分が持っている資格、なぜその会社を受けるのかという志望動機などを書きます。志望動機がうまく書けなかったり、履歴書はペン書きで修正液は使えませんので、字を間違ってしまうと何度も書き直すことになり苦労する卒業生がたくさんいました。普段から、落ち着いて書類を作る癖をつけておくといいです。応募は9月5日から開始です。確認作業などを考慮すると、8月中には完成させたいものです。

応募が終わったら、次は試験の準備にかかります。試験の内容は主に筆記試験と面接試験です。卒業生が残した受験報告書を参考にして、対策をしていきます。就職試験の場合は、特に面接試験が重視されます。会社の採用担当者は面接のプロですので、ほんの少しの面接で受験者の普段の状況をかなり正確につかむと聞いています。対策を入念に行うとともに、普段の生活をしっかりと送って、いつ面接試験を受けることになっても大丈夫の状態にしておくことです。

実際の試験は9月16日から始まります。会社から受験日の連絡が届いたら、指定された日時に指定された場所で受験をします。そして、結果を待ち、学校に合格通知が届いたら、「入社承諾書」と「礼状」を送って就職活動は終了です。残念ながら不合格の場合は、また最初に戻って求人票を見るところから再スタートとなります。



社会減少率、全国最大

4月13日の秋田魁新報によると、2018年10月1日現在、前年と比較して秋田県からの転出者は転入者を上回り、その割合である社会減少率は0.44%となって全国最大となりました。あいかわらず県外に出て行ってしまふ人が多いことを物語っており、この流れが止まらなると秋田県は子どもがいない高齢者ばかりの県となって、10年後や20年後の姿を想像すらできない状況であると言えます。この流れを止めるため、県では高校生に県内就職を促そうと努力しています。県外企業に就職をすることが選択肢の一つであるのは当然のことですが、進学で県外に出る人には、卒業したら県内企業に就職をすることも選択肢の一つに加えておいて欲しいところです。

